

(1) 仙北市

仙北市は秋田県の内陸部に位置し、角館町・田沢湖町、西木村という二つの町と一つの村が合併してできた比較的新しい市である。仙北市には観光名所が多々あり、武家屋敷や桜、日本一の水深を誇る田沢湖、カタクリの花や栗などが有名でそういった有名な観光地へ観光客を多く呼び込もうと数々のイベントを開催し、一年を通して観光客に訪れてもらえるような工夫を凝らしている。しかし私は今回このような観光地への誘致ではなく、田舎だからこそできる誘致というものに着目した。「農家民宿・民泊」というものの存在を知っているだろうか。

(2) 農家民宿・農家民泊の誘致

農業を営んでいる農家はその住居を旅行者に提供するという新しいスタイルの宿泊施設である農家民宿・民泊。この二つは実は同じものではなく、「農家民宿」は旅館業法を取得しなければならず、「農家民泊」は旅館業法を取得する必要がないという違いがある。そのため旅館業法を取得している「農家民宿」は宿泊料を徴収できるが、取得していない「農家民泊」は食事の代金は徴収することはできても宿泊代金を徴収することはできないということも特徴として挙げられる。いずれにせよ実際に本物の農家の家に滞在し、体験したことのない経験をすることができる。農家民宿・民泊がある地域によって体験するプランも変わり、飼育体験、バター作りなどの料理体験、山菜やキノコ採り、夏場は本格的な流しそうめんもでき、また、伝統工芸も体験することが可能。

仙北市は1970年代から学習旅行誘致に力を入れ始め、近年になり農家民宿・民泊を誘致プランとして加えインターネットで募集したことで、観光客の誘致の他に全国の小学校・中学校・高校の児童の集客率も増加した。農家民宿・民泊には都会で生まれ育ち自然の中で遊んだことがない児童が多く訪れ、上に述べたように田舎でしか体験できないようなその土地ならではの遊びやものづくり、現代の快適な暮らしから離れ昔ながらの暮らしをするなど数多くの体験をするのだが、学習旅行にはもってこいの場所であり誘致プランとして将来を見通した安定性があるといえるだろう。

(3) 農家民宿・民泊に見えてきた課題と新事業

(2)で誘致プランとして将来を見通した安定性があると述べた。しかしその安定性はこの先の将来も農家民宿・民泊の誘致は続くということで、一年を通して誘致(集客)の安定性があるということではない。学習旅行の修学旅行は各学校の年間行事の都合で5月～6月に集中してしまう。そのため時期がかぶりその時期だけ受け入れが困難になってしまうケースや、逆に他の時期には団体での集客率が低くなってしまいうケースが多いのだ。一年を通しての誘致を成功させるためにはどうしたらよいか課題となった。

そこで打ち出したのは海外への誘致だった。その当時仙北市の農家民宿・民泊は全国区で有名となっており、これ以上の国内の修学旅行の市場規模拡大は困難であったため海外への誘致を決めた。そこで田沢湖と姉妹提携関係にあった台湾のよしみで海外進出の最初のターゲットは台湾と決め、「歓迎再来！台湾からの修学旅行誘致促進事業」を2012年に

開始。受け入れ先の農家にとっても企画した市役所の職員にとっても初めての試みであったが、約 40 年にわたる日本人学生への対応経験が自信となり、大きな問題もなく無事事業を成功させることができた。

(4) 田舎の誘致の可能性

なぜ初の新事業を成功することができたのか。私はそこに“田舎”の強みがあると考えられる。いくら日本人への対応経験があっても日本人と外国人では大変な部分が多くあるように思え、また海外の団体を日本のド田舎に誘致するのも大変なことである。これらを克服し現在でも海外から集客、さらには誘致ターゲットとしての国も増やすことができているのは、“田舎”がもつ団結力と細やかな気配り心配り、地元の人々のあたたかさが関係しているのではないか。仙北市ではこの新事業を開始するにあたって、仙北市農村体験デザイン室という農家民宿・民泊の窓口を担う部門を作った。農家と観光客・学校のかげはしの役割を担い、ブログや SNS で情報を発信、農家や団体の相談を受けるという働きのほか、さまざまな場所に自ら出向き誘致をしており、それらの活動は海外誘致を成功させている要因の一つであるだろう。新事業を開始するときも農家へ説明会を実施し受け入れの不安解消を図ったり、台湾に行き学校を回って誘致した。成功して何年もなる現在も農家と企画側である仙北市農村体験デザイン室が手を取り合い二人三脚で国内・国外へ向けて田舎への誘致をしている。小さいコミュニティであるからこそ寄り添い一緒に活動する、その背景から生まれる誘致は信頼性も高い。またさらには“田舎”が持つあたたかさは訪れた人々をまた戻ってきたいと思わせる力がある。田舎の持つ良さが最大限に活かされ、根強い誘致となっている。